

2024年度(令和6年度)の取り組み予定等

- 日本建築士事務所協会連合会/BIMと情報環境WG
- 2024.3.25第12回建築BIM推進会議



1. 報告内容

【今年度後期の活動内容】

- BIM技術者に対する技法、技術研修の実施
- 経営者向けBIM講習会の実施

【来年度活動予定】

- BIM活用アイデアコンペティションの継続開催
- 会誌「日事連」での連載を継続
- BIMポータルサイト「BIM GATE」の充実化
- BIMの導入及び実務利用を加速して進めるための研修を計画

2. 活動報告： BIM技術者に対する技法、技術研修の実施

建築BIM加速化事業(普及・広報事業)として、設計者に対しBIMによる建築設計の実務の習得、周知を図り、円滑なBIM利用による建築設計業務の普及を一挙に進めることを目的とした「BIM技術者に対する技法、技術研修」を実施した。

オンライン講習

「BIM技術者に対する技法、技術研修」

概要

実習を交えた研修と、実際の建築プロジェクトを作成する演習の二段階の研修で構成された実践的な講習プログラムにより、建築技術者が実際の建築プロジェクトでBIMを活用して完成させるために必要な一連のスキル習得を目指します。各ソフトの利用実態に応じたBIMソフト別のクラス編成とカリキュラムで開講します。

研修は、4カ月間オンラインで(自学自習型のオンデマンド型及び質疑応答によるBIM技法、技術の習得、具体的な建築プロジェクトを作成する演習実施のWEB会議型を組み合わせ)、実際の設計操作を行います。

研修内容の詳細はBIMGATE (<https://bimgate.jp/>) 内申込ページよりご確認ください。

開講日

第1期:2023年7月3日(月)~2023年10月31日(火)
第2期:2023年10月2日(月)~2024年1月31日(水)

申込期間・方法

第1期:2023年5月22日(月)~2023年6月16日(金)
第2期:2023年8月21日(月)~2023年9月15日(金)
BIMGATE またはチラシ右下のQRコードよりお申し込みください。

※:申込者が定員を超過した場合は、抽選となることを予めご了承ください。

定員:各クラス(※1)20名(定員を超過する応募があった場合は抽選となります)
(※1)クラスはArchicad,GLOBALBE Architect,Revit,Vectorworksのソフトごとに開講

参加費:無料
建築CPD申請予定

申込要件

以下の条件の全てに該当する者

- ①既勤申込時点で建築士事務所所属している建築士であること
(※新卒者様からは1名の応募(募集)枠に申込人数を制限させていただきます)
- ②各研修クラスの研修ソフトを所持している等(※2)利用できる環境にあり、各ソフトの基本操作に習熟していること(ソフトの基本操作に関する講習は実施致しません)
- ③お月々の研修費すべてを完済できること
- ④オンラインにより受講できる通信環境にあること

(※2)一部ソフトについては受講前前記特定のライセンス件が可能なソフトもあります。詳細は以下の申込サイトでご確認ください。

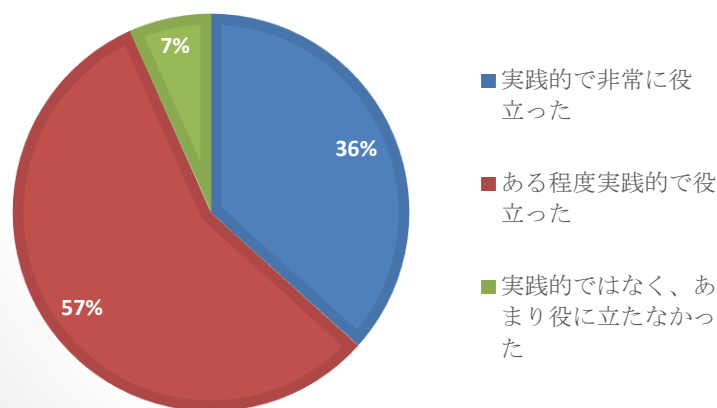
主催:お問い合わせ
(社)日本建築 事務所協会連合会
問い合わせフォーム(以下の申込ページ内)
BIMGATE内「お問い合わせ」
Eメール: info@bimgate.jp (受付時間:平日10時~18時)
※お問い合わせの際は、お名前・お電話番号を必ずお知らせください。
※お問い合わせの際は、お名前・お電話番号を必ずお知らせください。

BIM技術者に対する技法、技術研修広報チラシ

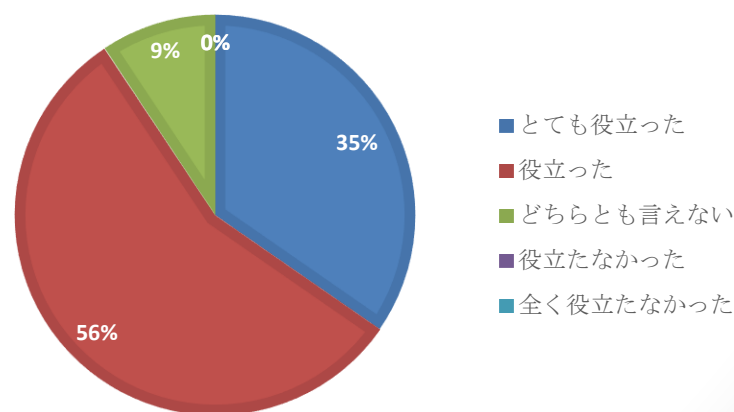
2. 活動報告： BIM技術者に対する技法、技術研修の実施

アンケートを実施したところ、受講者200名のうち、座学研修のアンケートで110名、実技演習のアンケートで75名からの回答が得られた。座学・実技ともに約9割の回答者が実践的で役立つと回答。一部ソフトについては講習期間内の貸与も行ったことにより、本研修によってBIM導入を決断したとの声もいただいた。

講義の内容が実践的かどうか
(座学)



研修が実務に役立つと感じたか
(実技)

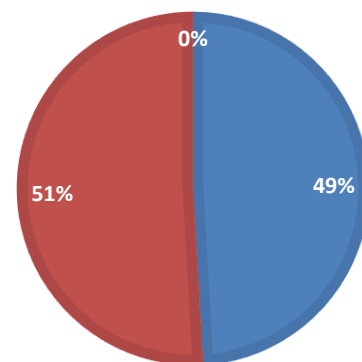


2. 活動報告:

BIM技術者に対する技法、技術研修の実施

実務に移行するための課題等について全体でみても、前回と同様にBIMが有用で実務応用が期待できると半数が回答した一方、半数が実務応用には課題があると回答。実務に移行するための課題としては以下のような回答があった。

BIMの有用性と実務応用の可能性



- BIMソフトウェアは非常に有用で実務応用が期待できる
- ある程度有用性があるが実務応用には課題がある
- 実務応用には限界があると感じる

- ① 学習時間・モチベーションの確保や技術レベルの不足などの「技術者自身の課題」
- ② 使用開始後に行き詰った問題を解決する窓口を要望する「サポート体制に関する課題」
- ③ 実務に落とし込むための体制整備や膨大な設定に関する「実業務への取り込み・システム移行に関する課題」
- ④ 協力会社やソフト間における「他社等との連携に関する課題」

次頁へ続く

2. 活動報告:

BIM技術者に対する技法、技術研修の実施

- ⑤ BIMを用いたリードタイムの設定が難しいなどの「業務時間・計画に関する課題」
- ⑥ 「費用に関する課題」
- ⑦ BIMソフト自体が複雑であることやIFCの変換効率不足、BIMソフトウェアを用いての詳細図作成が複雑であることなどの「BIMソフトウェアに関する課題」
- ⑧ 詳細図作成時等に必要となるオブジェクト作成に時間がかかりすぎる、最初のフォーマット作りに時間がかかりすぎるといった「BIMオブジェクト等整備環境に関する課題」
- ⑨ BIMによって増加する業務について周囲の理解が得られないことによるリードタイムの不足や発注案件の不足、設備データ等共通モデルデータの不足などの「BIMを取り巻く環境に関する課題」
- ⑩ 社内のBIM人員・社内標準の整備不足や業務方針決定者の意識改革が必要といった「会社組織に関する課題」
- ⑪ 今後の確認申請自動化への期待やオペレーターへの負担、高齢技術者への対応などの「その他の課題」

2. 活動報告:

BIM技術者に対する技法、技術研修の実施

研修会の実施及びアンケート調査によって、本研修の課題及びBIMの普及・促進のために必要な研修要素について明確化することができた。いただいた意見や今年度の実績をもとに、次年度以降の開催内容等を検討の上、より良い研修会を実施していきたい。

2. 活動報告： 経営者向けBIM講習会の実施

これからBIMを導入される方、導入はしたけれども活用できていない方に向けて、国の動向や経営者の立場からみた導入メリット、導入方法や人材育成、活用事例などをわかりやすく解説した講習会を開催し、BIMの周知・普及を図った。

○会場講習実績

全国33都府県(34会場)にて開催

講習形態 動画講習

受講者総数 714人

併せて、「BIM GATE」にテキストおよび解説動画を公開し、オンラインでも視聴可能とした。[\(https://bimgate.jp/e-learning/\)](https://bimgate.jp/e-learning/)

2. 活動報告： 経営者向けBIM講習会の実施

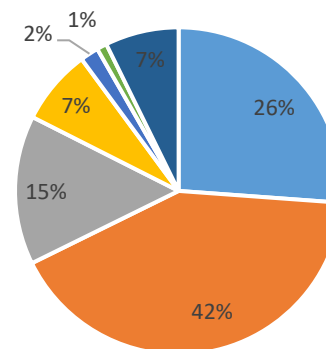
○受講者アンケート

アンケート回収数 605枚 回収率 84.7%

受講者属性

回答	件数	割合
総合設計事務所	158	26.2%
専門設計事務所	251	41.6%
ゼネコン	89	14.7%
工務店	45	7.5%
専門工事会社	11	1.8%
住宅メーカー	6	1.0%
その他	44	7.3%
合計	604	100.0%

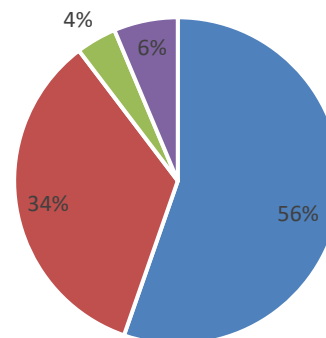
- 総合設計事務所
- 専門設計事務所
- ゼネコン
- 工務店
- 専門工事会社
- 住宅メーカー
- その他



従業員数

回答	件数	割合
1～10人	332	55.3%
11～100人	206	34.3%
101～300人	24	4.0%
301人以上	38	6.3%
合計	600	100.0%

- 1～10人
- 11～100人
- 101～300人
- 301人以上

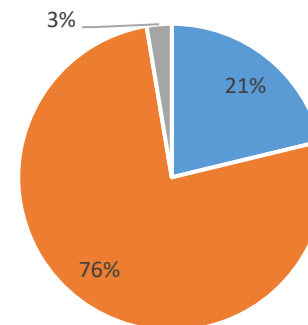


2. 活動報告： 経営者向けBIM講習会の実施

本講習のボリューム

回答	件数	割合
多い、講習時間が長い	121	21.2%
適切	434	76.1%
少ない、説明が不十分	15	2.6%
合計	570	100.0%

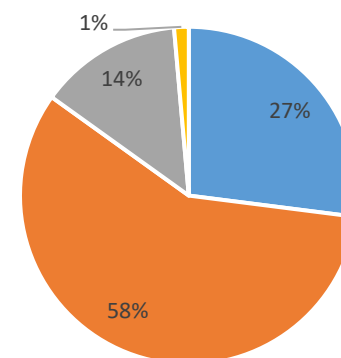
- 多い、講習時間が長い
- 適切
- 少ない、説明が不十分



本講習に対する満足度

回答	件数	割合
満足	154	27.0%
概ね満足	330	57.9%
どちらとも言えない	78	13.7%
不満足	8	1.4%
合計	570	100.0%

- 満足
- 概ね満足
- どちらとも言えない
- 不満足



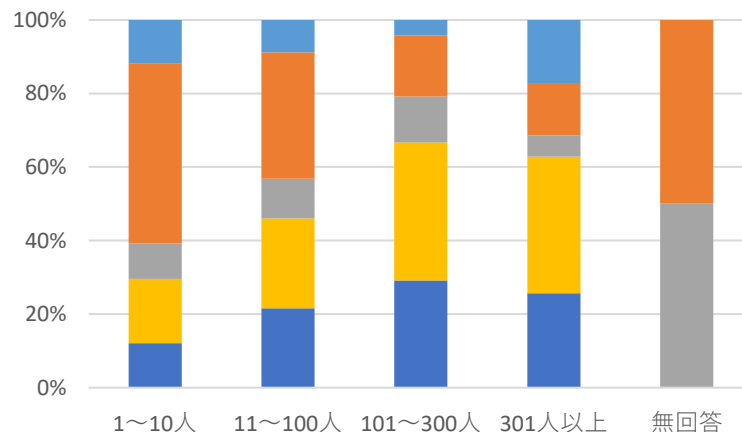
各事務所の事例紹介が参考になったとの意見が多く寄せられた。

2. 活動報告： 経営者向けBIM講習会の実施

従業員数×BIMの導入状況

	導入の予定はない・未定		導入の予定はないが、導入に興味はある		3年以内に導入する予定がある		導入済だが未活用		導入済で活用している		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
1～10人	39	11.8%	162	48.9%	32	9.7%	58	17.5%	40	12.1%	331
11～100人	18	8.8%	70	34.3%	22	10.8%	50	24.5%	44	21.6%	204
101～300人	1	4.2%	4	16.7%	3	12.5%	9	37.5%	7	29.2%	24
301人以上	6	17.1%	5	14.3%	2	5.7%	13	37.1%	9	25.7%	35
無回答		0.0%	1	50.0%	1	50.0%		0.0%		0.0%	2
合計	64		242		60		130		100		596

- 導入の予定はない・未定
- 導入の予定はないが、導入に興味はある
- 3年以内に導入する予定がある
- 導入済だが未活用
- 導入済で活用している



小規模事務所でもBIM導入に興味を持っている事務所が多い。

3. 活動予定

BIM活用アイデアコンペティションの継続開催

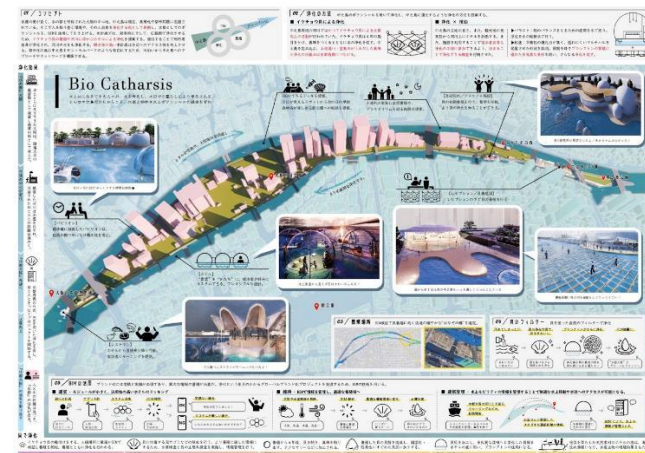
BIM利用による設計コンペを主催し、建築士・学生に対し、BIM活用への意欲の喚起、BIM活用能力の向上・積極活用のきっかけとするとともに、提案作品を通じて広く一般社会にBIMの価値を示すことを目的に、2014年より開催。

2019年度より、学生だけでなく社会人にも対象を拡大し、毎年開催しており、昨年度は対象拡大後初めて、学生が最優秀賞と審査委員長特別賞をW受賞。



2019年度最優秀賞

「宇都宮市森林公園サイクルロードセンター」



2024年度最優秀賞 「Bio Catharsis」

3. 活動予定

BIM活用アイデアコンペティションの継続開催

主管単位会が栃木、福岡、宮城、大阪と展開してきたことにより、コンペ応募者を増やし裾野を広げ、BIM活用の可能性を拡大してきた。

また、運営にあたって各地の建築士事務所協会が行政と適切に連携して要項を作成し、BIMがもたらす効果を見える化し、BIM普及への意識づけ、あるいはBIM活用のリーダー育成に、着実に取り組んできている。

来年度は神奈川での開催を予定している。

マロニエコンペティション サイトURL

→<https://www.marronnier-bim.com/>

3. 活動予定:会誌「日事連」での連載を継続

BIMの普及促進を目的として、最新情報の紹介、基礎知識の提供など、幅広い視点からBIMやAIをめぐる記事を掲載。2カ月に1度の連載で、現在までに通算29回掲載。

これまでは各地の中小事務所を中心に、BIMの導入経緯や活用事例、BIMを活用した今後の事業展開などの記事を掲載してきたが、今後は社内でのBIM普及・推進の取り組みなど、BIM導入後～活用に至るまでの事例を紹介し、BIMのさらなる普及に取り組んでいく。



続 BIMで変わる、BIMで変える
—BIMをとことん使いこなそう!—

この連載では、建築ジャーナリストの横川一希氏の案内でBIMの最先端の動きを紹介してきました。第2回は、BIMを実際に使いこなしていただける建築士事務所にご協力いただき、設計プロセスの合理化だけでなく、建築士事務所経営改革に大いに活用した実体験をお聞かせします。これは、BIMの可能性の扉を開けてみたら、そこには、建築界や社会もまるごと変えてしまう!とつもないパワーが潜んでいた、というお話です。みなさん、BIMを使って元気になりましょう!
(BIMと情報環境ワーキンググループ)

28回 2Dの煩雑さからの
魂の解放を目指して

横川佳津雄
一級建築士事務所 | Architects (石川台)

BIMを導入した経緯

独立前は親なる2社のアトリエ系事務所に勤めていました。先に所属した事務所では、設計期間の短い物件においては「図納め優先で後は現場で考える」ことが常態化していました。当然のことながら現場に臨場感がいき、不整合の指摘を受け、その解決に奔走、時間をさらに費やすことになっていました。作図は2DCADを用いており、整合性をつけるため小さなディスプレイ内には常にいくつものデータ（平面詳細、断面詳細、展開など）を同時に開いてそれらを行ったり来たりしていました。それに加え、変更が生じた際には関連する図面全てを追従させ、各種図面ごとにファイルデータがあるため、建物規模によってはファイル数が多くなり、そのデータ管理にも大変な努力を費やしていました。特に複数物件が同時進行している時は、少々脳内もバグっていました。このような2Dの煩雑さに悩まされていたのだと思います。

もし3Dで連動するソフトがあれば不整合が少なくなり、デザインやディテールなどの検討に時間を費やすことができるのではないかと、という思いと理想を巡

らせていたところにBIMがあるということを知りました。しかしながら、その事務所では導入には至らずじまいでした。

2社目で初めてBIMソフト Archicadを実践（しかもチームワーク）し、体感しました。実際にソフトを操作する以前は、入力した高さや大きさが各種図面に反映され、簡単にできあがっていくものだと思っていました。しかし、現実には平面、立面、断面こそできるものの、他の図面に関しては簡単な作業ではなく、理想のレイアウトや各種構成要素（例えば建具や家具等）の情報を図面として引き出すための操作に慣れることから始まり、各種情報収集と整理整頓、アウトプットの操作に時間を割かれていたことを記憶しています。

特に印象深かったのが、最初に勤めていた事務所での図面の表現というものを叩き込まれたこともあり、BIMで作成した図面がこれまで書いてきた図面と乖離するものがあり固執したことです。そんな折にクライアントから「もっとわかりやすい図面にしてほしい。今のままでは窓が開閉口かわからない」と言われました。BIMソフトは各種情報を入力することで図面を作成することができますが、図面の表現方法は、設定から線の太さを細かく見

<https://www.njr.or.jp/aboutus/magazine/>
(詳細はお問い合わせください)

3. 活動予定: BIMポータルサイト「BIM GATE」の充実化

令和5年度は、BIMに関わる幅広い方々を対象としたBIM情報ポータルサイトで、BIM導入に関する情報提供の拡充や経営者向けBIMセミナー動画の公開により充実化を図り、着実にユーザー数を増やした。

特に経営者向けBIMセミナー動画公開の際には多くの方にご利用いただいた。

ページタイトルとスクリーンクラス + ↓ 表示回数

2023/12/17~12/23

順位	ページタイトル	表示回数
1	講習動画 BIM GATE	667
2	トップページ BIM GATE	306
3	BIMパートナー BIM GATE	88

1,765
全体の100%



3. 活動予定:

BIMポータルサイト「BIM GATE」の充実化

建築技術者に有益な情報を提供するため、来年度も引き続き内容の充実化を図る。

今後も広く活用されるよう、なお一層の充実を図っている
ので、情報提供やリンク、運営アドバイスも期待している。

BIM GATE サイトURL

→<https://bimgate.jp/>

3. 活動予定:

BIMの導入及び実務利用を加速して進めるための研修を計画

今年度実施したBIMの研修の内容を踏まえ、建築業界でさらにBIMの導入及び実務利用が加速して進むよう、建築BIM導入に関する広報に取り組んでいく。

ご清聴ありがとうございました